

宇宙を旅した感謝の横断幕が 飯舘村にやってきました



式の後、参加市町村の写真やメッセージが描かれた横断幕を見て発見や感想を話し合う児童

一般社団法人ワンアースによる『東北復興宇宙ミッション2021』は、復興する東北の姿と支援への感謝を発信するプロジェクト。飯舘村からは、村内産のエゴマが宇宙の旅に参加し、8月に村への帰還を果たしました。また、宇宙からメッセージを発信した「川俣シルク」製の横断幕が、プロジェクトに参加した各市町村をめぐって、9月13日に村への引渡式が行われました。式は『いいたて希望の里学園』で行われ、横断幕は9月26日まで交流センター「ふれ愛館」に展示されました。

『ひみつ基地どきどき』 入場者数1万人を達成！

昨年8月にオープンした『ふかや風の子広場』の屋内運動施設『ひみつ基地どきどき』の入場者数が、8月29日、のべ1万人に達しました。新型コロナウイルス感染症の対策で、オープン当初から入場制限などを行う中、1年余りで1万人の方にご利用いただきました。1万人目の来場者は、川俣町の伊藤さん家族で、2歳の瑛伝君は何度もこの施設を訪れているリピーターです。1万人目の記念品として、エコバッグや文具などのイタネちゃんグッズ、村産お米、「いいたてオリンピック」の苗が贈られました。



入場1万人目となった伊藤さん家族。これからもたくさん遊びに来てくださいね！

長寿のお祝いと感謝をこめて 敬老の記念品を送る



上品な甘さで口どけがやさしい和三盆の打菓子、お餅のようにラッピングされたハンドタオル（お一人1枚）を名簿と共に送りました

県内における新型コロナウイルス感染症の急拡大を受けて、9月12日に予定されていた敬老会は中止となりました。村は、敬老会を開催できない中でも何かの形でお祝いをしたいと考え、75歳以上の皆さんに、敬老会の名簿と合わせて記念品をお送りさせていただきました。杉岡村長は同封の手紙に、贈り物にこめた思いをつづり、「来年の敬老会で、皆さまに笑顔でお会いできますことを楽しみにしております」とメッセージを添えました。懐かしい方々との再会を心待ちに、どうかこれからも元気で過ごしてください。

裏磐梯の大自然に抱かれて カヌー体験教室を開催

8月29日、北塩原村の桧原湖で、カヌー体験教室を開催しました。飯舘村教育委員会といたてスポーツクラブの共催。村民の自然体験、交流、体力向上などを目的として開催しています。

当日は天候にも恵まれ、事前に申し込みをしていた親子など9人が参加しました。参加者は、インストラクターから、カヌーの漕ぎ方や湖上でのマナーなどを教わり、2人乗りのカヌーに乗って、颯爽と湖へ。青空を鮮やかに映した湖上の景色を存分に楽しんでいました。



桧原湖は「磐梯松島」とも呼ばれる裏磐梯の景勝地。カヌーに乗って雄大な自然を満喫！

ふくしま駅伝に向けて 一步一步練習を重ねています



『いいたてスポーツ公園』での合同練習は週に2回（写真は9月24日）。夏には合宿も行いました

11月21日に開催予定の『第33回市町村対抗福島県縦断駅伝大会（ふくしま駅伝）』に向けて、選手候補の練習が続いています。大会当日は、白河市の『しらかわカタルスポーツパーク陸上競技場』から福島県庁までの16区間で選手がタスキをつなぎます。選手の招集が難しい市町村が合同チームを編成する中、飯舘村では単独チームでの出場を目指しています。『いいたて希望の里学園』の生徒、さらには先生方の力強い協力を得ながら、トレーニングが続いています。

軟式野球・ソフトボール 飯舘村チームの結団式

『第15回市町村対抗福島県軟式野球大会』『第8回市町村対抗福島県ソフトボール大会』が開催されるのに先立ち、両大会に出場する飯舘村チームの結団式が、9月4日、交流センター「ふれ愛館」で行われました。結団式には両チームの監督、選手らが出席。高橋副村長が、「プレーを通じて、村民に希望を届けてください」と激励しました。また、飯舘村スポーツ推進委員の大内亮委員長（八木沢・芦原）の発声で、「ガンバロー三唱」を行い、健闘を誓い合いました。



右側が軟式野球チーム、左側がソフトボールチーム、中央に高橋副村長（右）と大内委員長（左）